

施策体系・重点施策・成果指標について(野沢案)

★は重点施策に追加

資料2・資料2別添・資料5

重点施策と成果指標について

3保健・医療サービスの充実

1保健サービスの充実

2障害者医療等の充実

★3精神科病院からの地域移行の促進

地域移行者数

6福祉サービスの充実・向上

★1住まいの場の充実

146障害者支援施設(入所)の整備	入所施設の待機者数
98グループホームの充実	
132短期入所等の充実	
99地域生活支援拠点等の推進	
127空家等の活用促進	

2日中活動の場の充実

3相談支援体制の充実

4地域生活支援体制の充実

- 138重度障害者に対応する事業所への支援の促進
- 139福祉施設の連絡調整会議の支援
- 128障害者手帳取得の促進
- 129各種手当て等の充実
- 130ホームヘルプサービスの充実
- 131巡回入浴サービスの充実
- 134居宅介護サービスの充実
- 135日常生活用具支給事業の促進
- 136補装具等支給事業の推進
- 137福祉機器の相談の充実

121から126は施策分野1の1差別の解消及び相互理解の促進へ入れる。

5サービスの質の維持・向上

自由記述編 入所施設が必要と願う声

調査結果 2. 知的障害者

介助者向けアンケート

介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

【福祉サービス・支援について】

- 介助に当たれる者が元気なうちは良いが、親亡き後、兄弟へ負担が移項することは、不安に思う。親が元気なうちに、その後の生活体制を確立させて、少しずつ慣らし、親がいなくても暮らしていけるような環境を整えてあげたいと願うばかりです。(30 歳代)
- 家族が亡くなった後の支援を行政として教えて頂きたい。例えば障害に依じてのグループホームで、入居者負担可のホーム等が欲しい。(50 歳代)
- 夫が亡くなり、自分がいつまで子供が世話できるかと心配になります。子供は施設には行きたくないと言うが預けなくてはならない時が来たらスムーズに入所できるようにして欲しい。(声かけがないと一人では生活ができません)(30 歳代)
- 川越には川越市で設立運営している施設がありません。両親が年を取って動けなくなったり、亡くなってしまったりした時にはどうしたらいいのでしょうか？考えると夜も眠れません。(30 歳代)
- 私もいつまで介助できるかわかりません。でも本人の様子はとても気になり、顔も見ていたいと思います。高齢の親と障害をもっている本人と一緒にの部屋で、介護を受けられる施設があったら、本当に嬉しいです。ぜひ作ってください。(30 歳代)
- 前述しましたが、やはり親亡き後が心配です。安心して暮らせる入所施設の建設を、切に願います。施設への重度加算など、障害者への支援は継続していただきたく、これも切に願います。(20 歳代)
- 介助者がつぶれる事のないよう支援、家族がなくなった時の本人の生活の確保、家族が不幸な出来事で破綻する事のないよう支援よろしく願います。(30 歳代)
- 今は必要で得られるサービスは全て受けさせて頂き、家族や事業所の協力もあり、親子共々元気に働けていますが、1 つでもかけたり、いずれ来る入所の選択肢が無いに等しく将来が不安です。事業所にまかせるなら市の補助は絶対に必要です。多くを寄付でまわしている事業所もあるので、それが公平になり、住まいを安心して考えられるよう、助けて下さるとありがたいです。(20 歳代)
- 父母の高齢化に伴い知的障害 B の息子の自立化が困難な現状から、自立化支援の内容等の紹介、提供を早急に願います。今回初めての当アンケートで、たくさんの情報を知ることができました。ありがとうございました。宜しく願い致します。(40 歳代)